

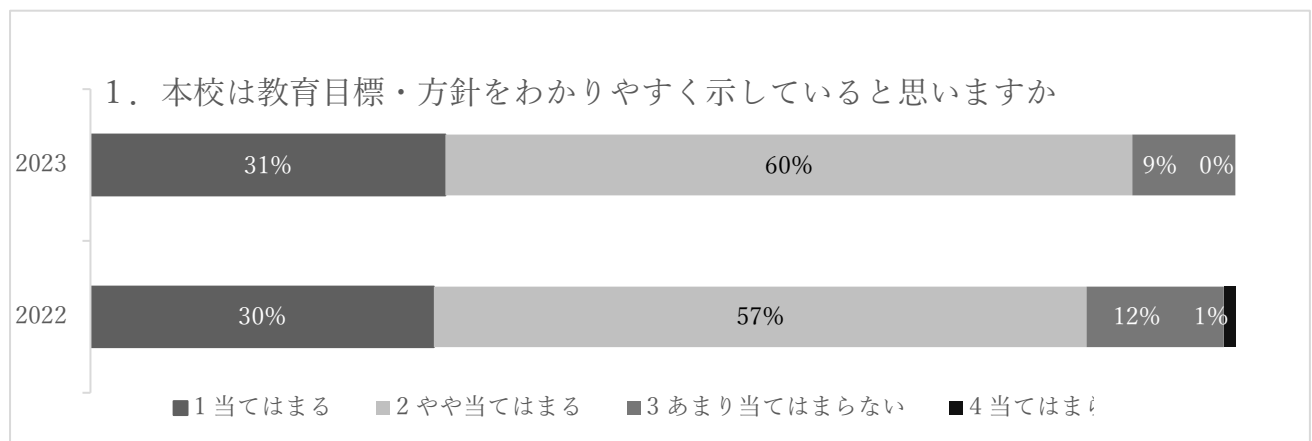
# 令和5年度 学校教育評価 結果と考察

座間市立相武台東小学校  
校長 山崎 聡子

本年度12月に保護者と児童を対象に、相武台東小学校の学校教育に関するアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。その結果と考察をご報告いたします。

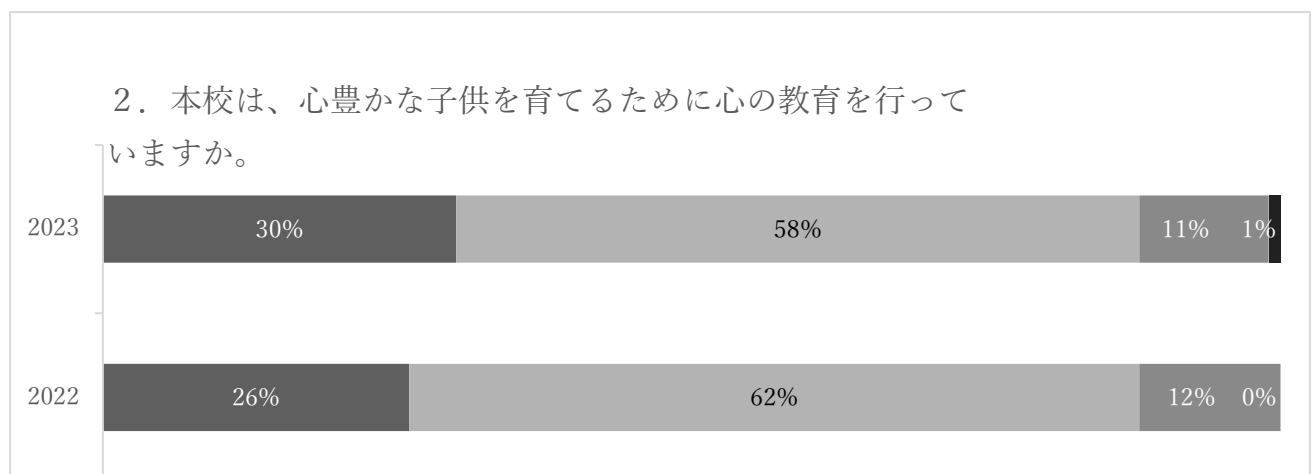
## 《保護者アンケートより》

◇学校経営方針に対する、保護者への周知と理解についての設問です。



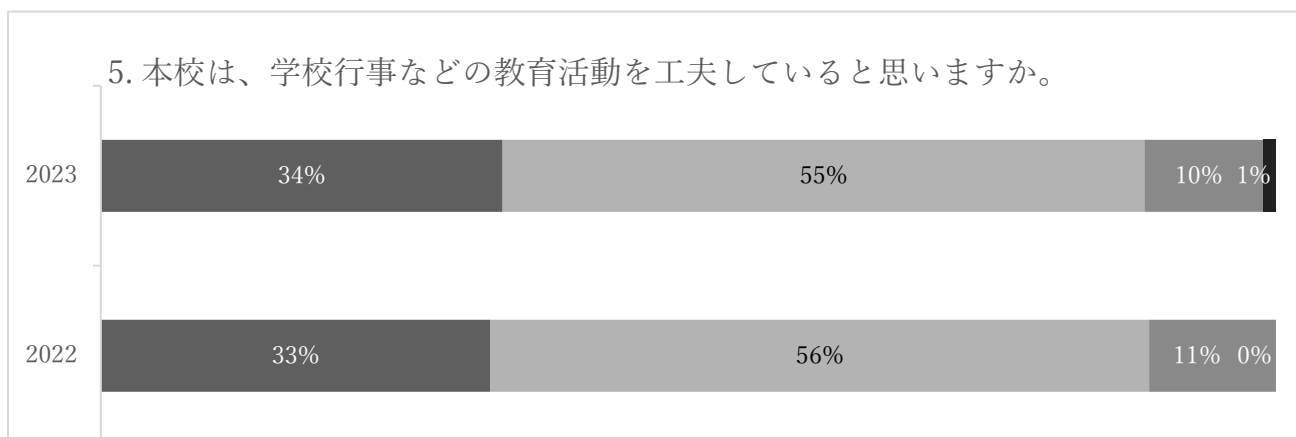
全体としては、肯定的回答率（91%）と高い評価を受けています。学校ホームページや校長室だより、学校だより等を通してお伝えしてきたことの結果と受け止めています。また、昨年度よりも保護者の皆様の来校する機会が増え、学校教育目標の校内掲示を目にする機会が増えた結果であると考えます。今後も、校内掲示を活かし、新1年生保護者説明会や懇談会等で丁寧な説明に努めていきます。

◇本校教育目標でもあり、座間市教育施策の大きな柱でもある「心豊かな子供の育成」についての設問です。



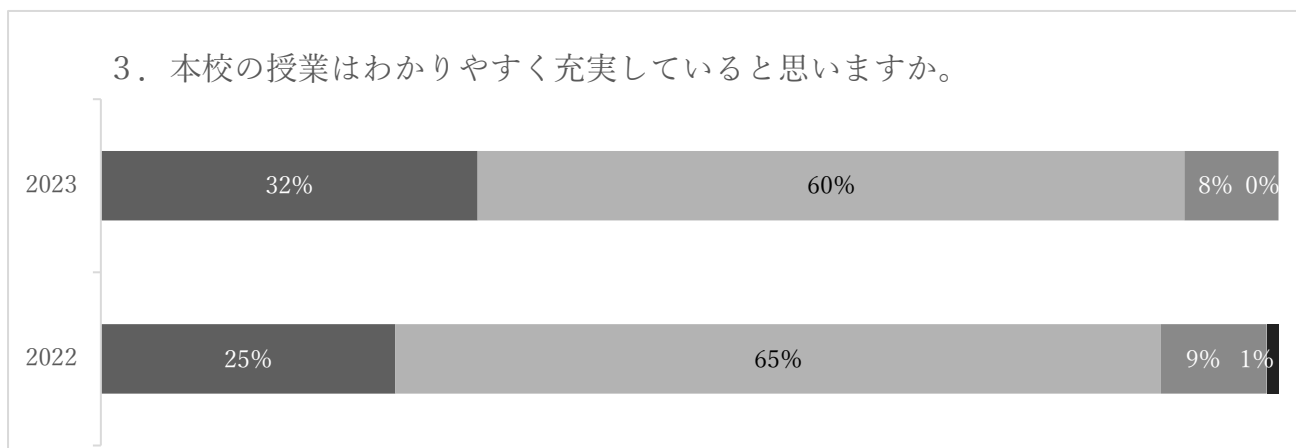
学校の創意を生かした体験活動や交流活動を工夫しながら進めることができおり、肯定的回答が9割近いという評価を得ています。本校のめざす児童像の中に、思いやりを持ち助け合える子を位置付けています。この児童像を育成するために、道徳教育の充実に努め、児童会を中心とした

思いやりプロジェクトの取組、ペア学年の取組等、思いやりと助け合いの心の教育を大切にしています。今後も教育課程全般で実体験や交流活動を重視した創意を生かした取組や道徳教育のさらなる充実に努め、子供たちの豊かな心の育成を継続していきます。



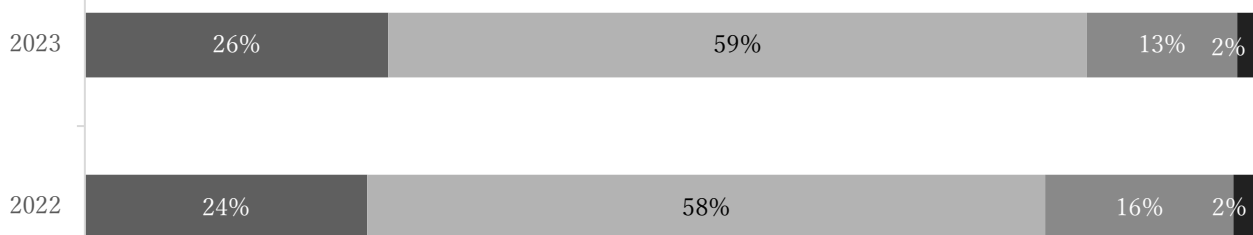
今年度の運動会は、4年ぶりの全校児童開催を実現し、全校児童が同じ時間を共有しながら、演技や競技に全力を尽くしていました。応援団やリレー競技も復活し、活気ある運動会となり、児童の笑顔が輝いていました。また、5年キャンプや6年修学旅行など泊を伴う行事やバス遠足等、児童が楽しみにしている行事も実施することができました。評価結果からは、そういったことを評価していただいている一方で、「まだまだ工夫の余地がある」との声も感じられます。今後も保護者や地域・コミュニティ・スクールの皆様の声などを聞きながら、さらに児童が生き生きと学び成長できる学校を目指して、工夫改善に取り組んでいきます。

◇児童にとって効果的な授業ができているかを問う設問です。



わかりやすい授業については、肯定的回答率が92%という嬉しい結果となりました。本校では授業改善の一つである主体的、対話的で深い学びを大切にして、全職員で研究を進めています。その成果の一つと捉え、今後も校内研究を中心に、学校全体で授業改善と充実に取り組んでいきます。

7. 学校内の教育機器が整備され有効に教育活動に利用されていると  
 思いますか。



GIGA スクール構想により一人一台の学習用端末が貸与されてから、3年が過ぎようとしています。この間、授業や教育活動の中での学習用端末をはじめとした ICT 機器の活用は確実に進みました。授業内での活用はもちろん、学年に応じて家庭へ持ち帰り家庭学習での活用にも力を入れてきました。今回の肯定的回答が昨年度からさらにポイントを上げ、85%の評価をいただいたことは、これまでの取組の評価と捉えています。

今後は、情報モラル教育にも力を入れながら、学びのコミュニケーションツールとしての ICT 機器の活用や、発達に課題がある児童への支援的ツールとしてのより良い活用を目指していきます。

◇教職員の、児童や保護者・地域に対する向き合い方や連携についての設問です。

4. 本校は、地域の人々の理解と協力を得た学校運営ができ  
 ていると思いますか。



最も肯定的な回答が前年より1パーセント増えている点は、評価できますが、肯定的回答は昨年度よりも1パーセント減っている点は残念です。昨年度から開始したコミュニティ・スクールの取組として、5・6年家庭科学習のミシンボランティア、2年算数のかけ算九九聞き取りボランティア、相東ミュージックの演奏会など、様々な場面で地域の方々の協力をいただいています。

こうした取組が保護者や地域の方々に広く知っていただけるような情報発信の工夫をしていきたいと考えています。また、地域とのさらなる連携を目指して、今後も話し合いを重ねていきます。

6. 教職員は、児童一人一人を大切にしていますか。

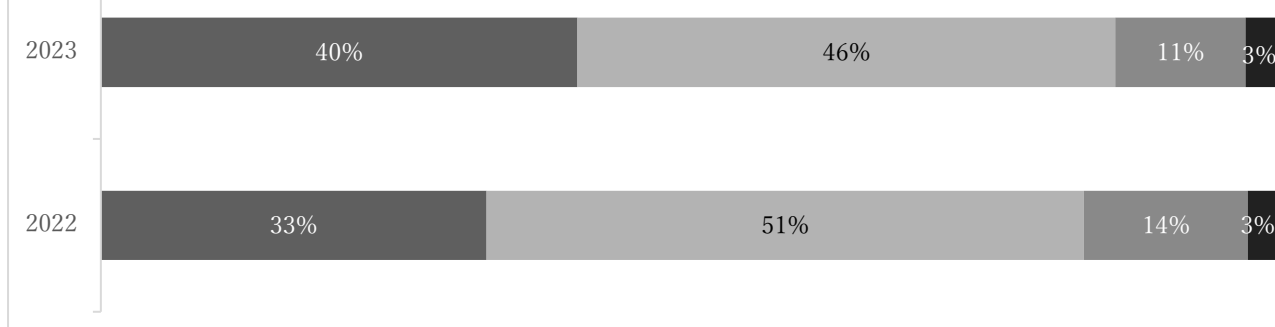


肯定的な回答率は91%と昨年度よりもポイントをあげる評価をいただきました。しかし、一方で『そう思わない』と回答をしていただいた保護者の方々がいることに対して、教職員一同が保護者の皆様の声に耳を傾け、児童一人一人に寄り添った指導や温かな支援に努めていきます。

9. 学校に要望や意見を知らせやすいと思いますか。



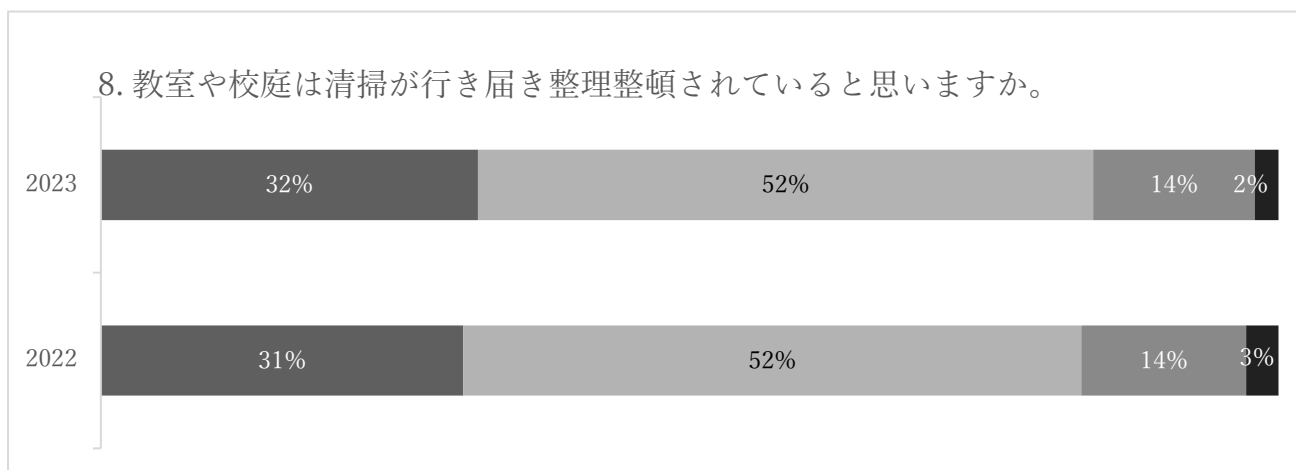
10. 教職員は、何でも相談できる雰囲気がありますか。



今年度から新学年スタート時に相談週間を設け、児童の悩みや保護者の皆様からの相談を伺う取組を開始しました。年2回の個人面談の充実、スクールカウンセラーへの相談や教育相談コーディネーターの活用といった取組も浸透してきた結果と受け止めています。引き続き、教育相談体制の充実や個に応じた指導等に取り組み、きめ細やかに対応できるようにしていきます。

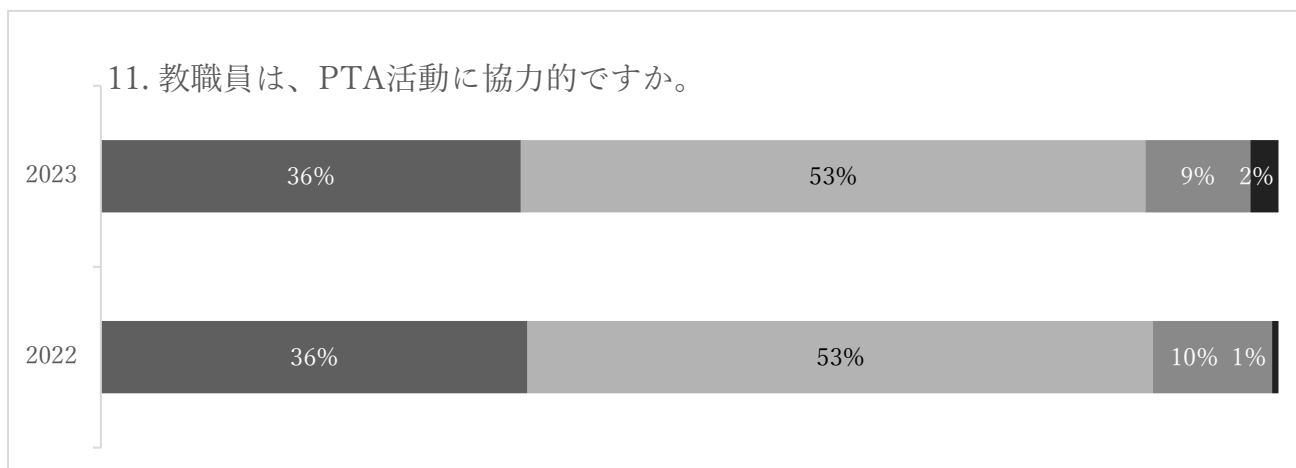
いつでもどの職員にでも、声をかけやすい場面で遠慮なくご相談ください。

#### ◇環境整備状況についての設問です。



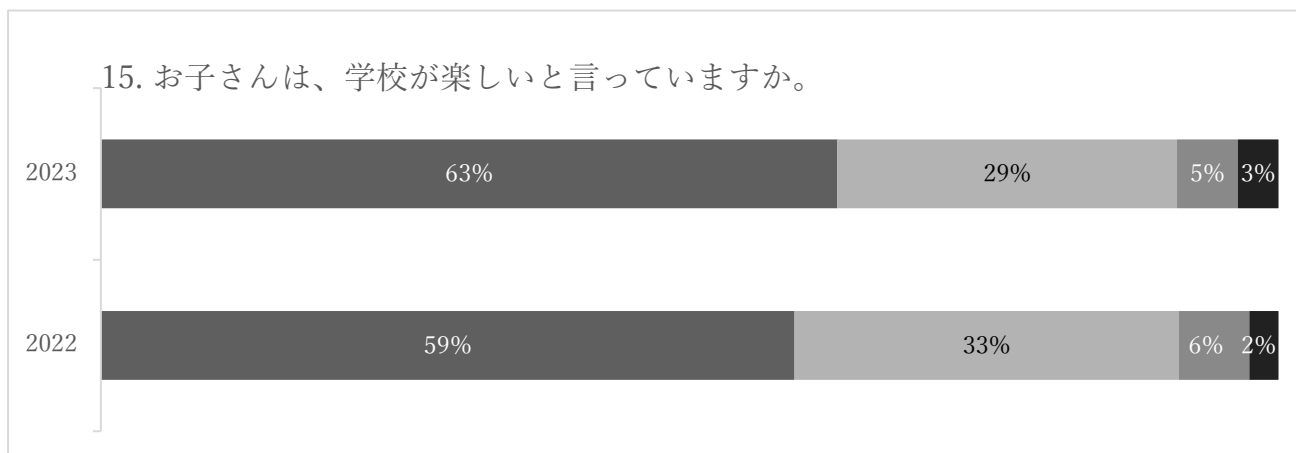
最も肯定的な回答が1%増え、『そう思わない』の回答が1%減ったことは、嬉しい結果となりました。昨年度から業者による毎月2回の定期的なトイレ清掃、各教室や特別教室の床清掃とワックス掛け、さらにはPTAや施設開放団体による校地内整備等の取組が衛生的で整った教育環境の整備に繋がっていると考えます。保護者の皆様のご協力に感謝すると共に、引き続き校地内の環境整備を継続していきます。

#### ◇教職員のPTA活動への参加姿勢についての設問です。

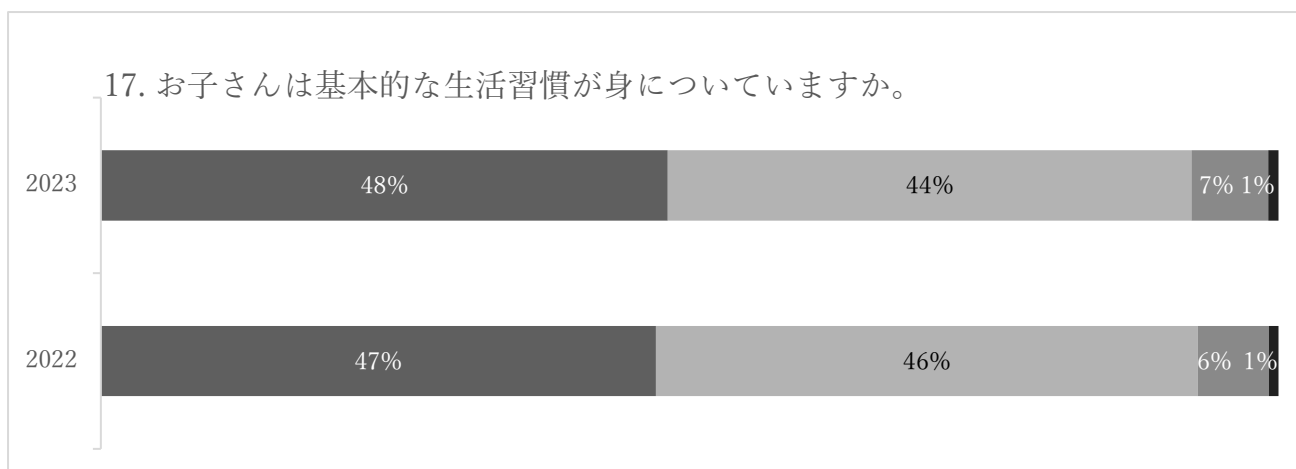
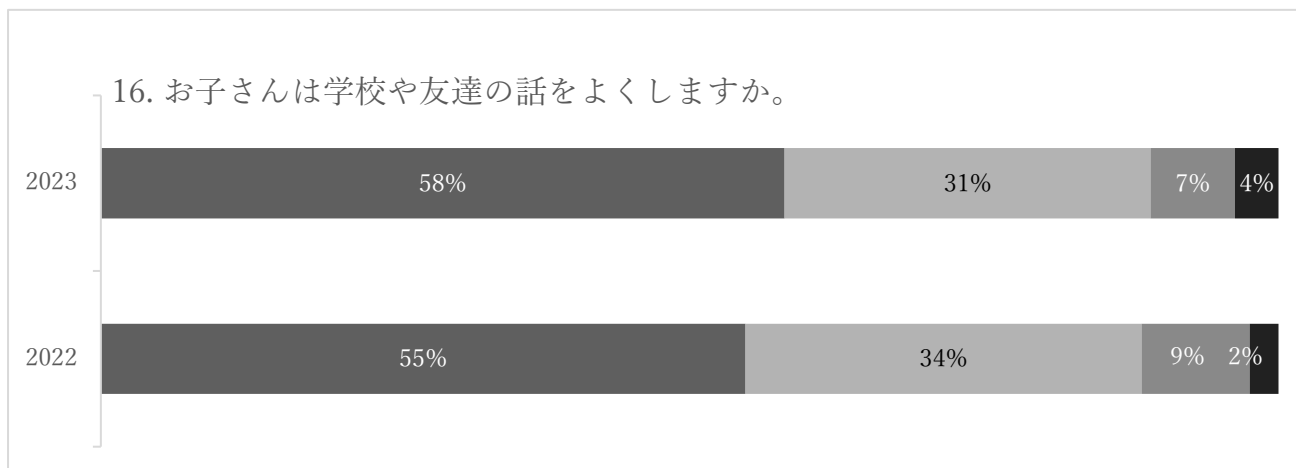


肯定的回答は昨年度と変わりなく、89%の評価を得ています。今年度から再開した「相東っ子まつり」の相東バンドや職員のパフォーマンスや児童とのダンス披露、校地内整備・市内一斉パトロールへの参加協力、広報誌「ひがし」の記事作成や写真提供等、教職員のPTA活動への参加協力が伝わりにくいという現状があると感じます。また、教職員の長時間労働や働き方が問題となる中で、勤務時間外のPTA活動に、教職員がこういった形で協力できるかという難しい点もあります。PTA活動自体も保護者負担を減らしながら、児童のより良い成長につながる活動の在り方を検討していく必要があります。

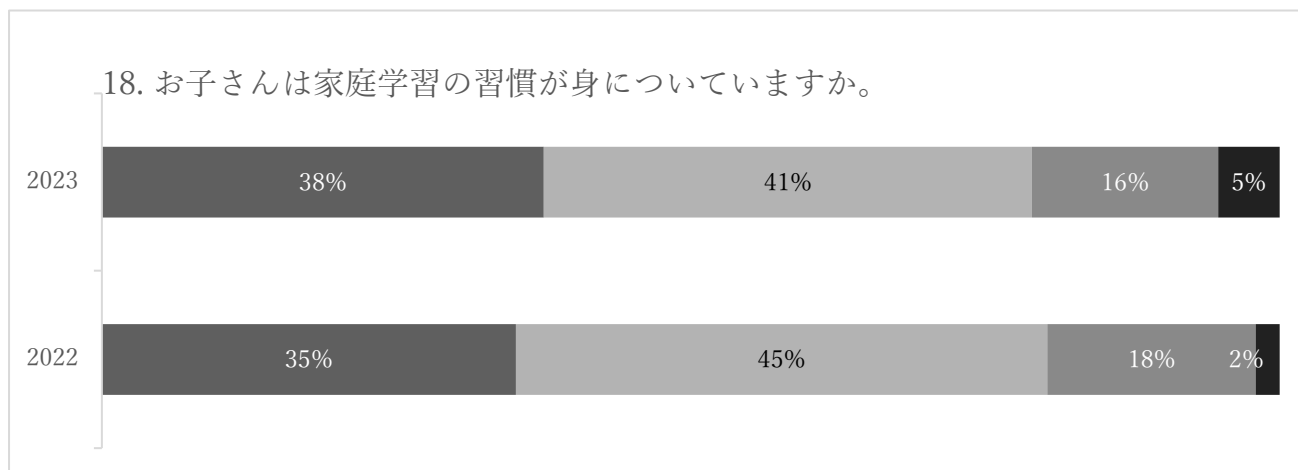
◇家庭でのお子さんの様子についての設問です。



最も肯定的な回答が昨年度から4%も上昇し63%という結果となりました。コロナ禍による制限が解除され、マスクを外して楽しそうに語らう児童の様子や校庭で友達と思いっきり遊ぶ様子が増えました。こうした児童の様子が学習活動や学校生活の充実に繋がっていると考えます。しかし、『そう思わない』という回答が1%増えたことも事実です。すべての教育活動の中で、一人一人の児童が居心地良く過ごせる場所や児童同士の関わりを深めていく活動を工夫していきます。また、児童にもより良い学校生活にするために、主体的な行動ができるよう、引き続き指導・支援をしていきます。



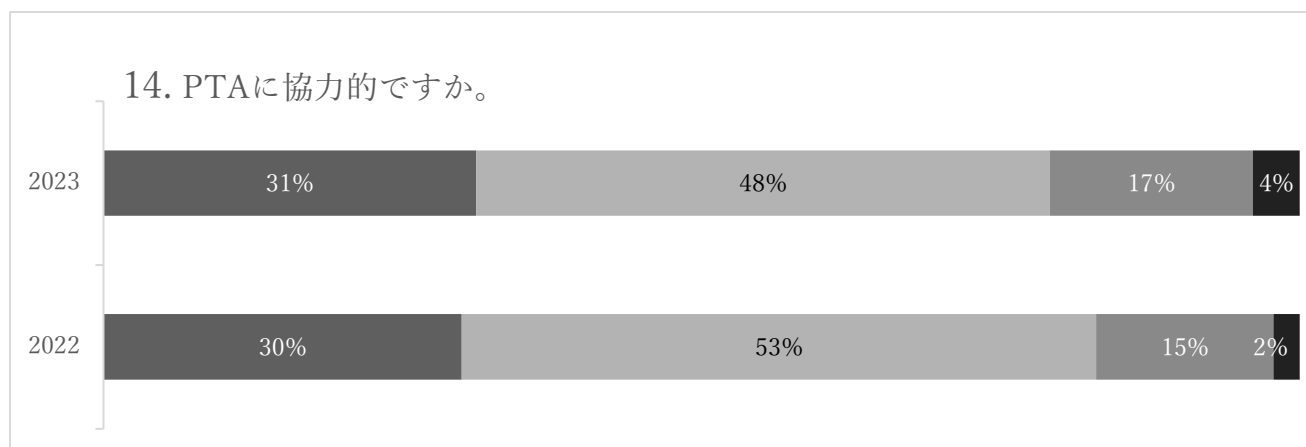
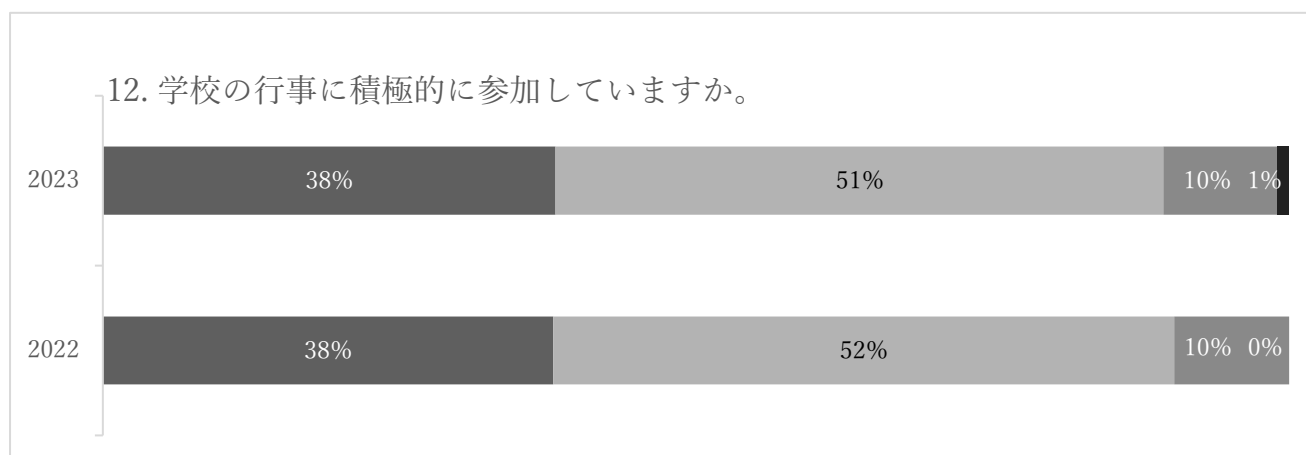
この2つの設問に対しては、肯定的回答が9割程度の高評価となっています。家庭での会話や基本的な生活習慣が定着し、安定した生活を送れている児童が多いことがうかがえます。家庭での生活習慣は、充実した学校生活を送る基盤となるものです。ご家庭での習慣づくりのおかげであることに感謝し、学校でも引き続き指導・支援を継続していきます。



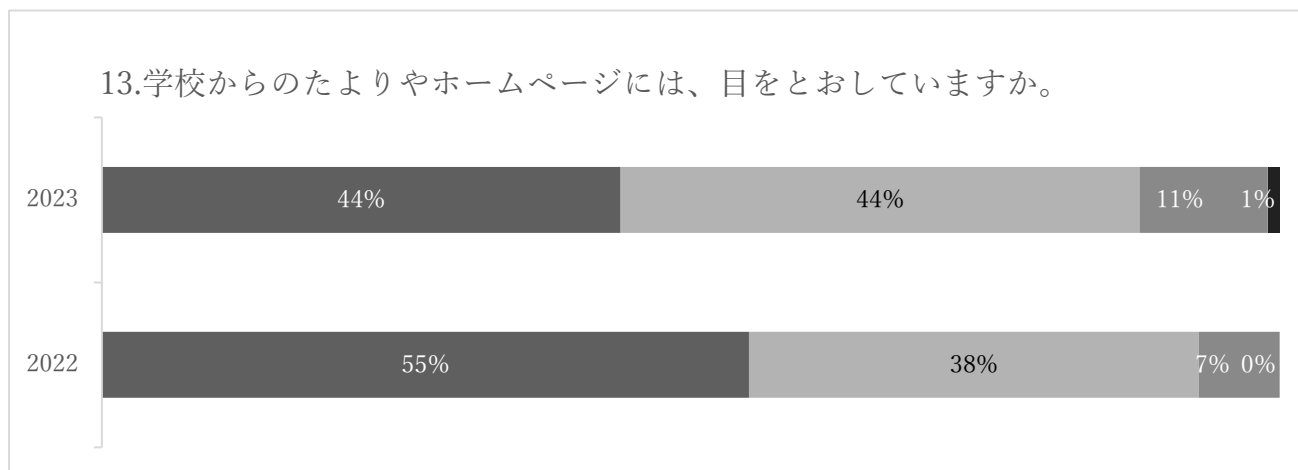
昨年度よりも最も肯定的な回答が3%も増え、家庭学習の習慣が身に付いてきていることがうかがえます。しかし、『そう思わない』の回答には昨年度よりも3%増えてしまったことは残念です。

今後は、各学年の発達段階に応じた家庭学習の内容や取り組み方の工夫、学習用端末のさらなる活用も視野に入れながら、児童が自主的に取り組める家庭学習の在り方について進めていきます。

#### ◇保護者の学校教育への関心についての設問です。



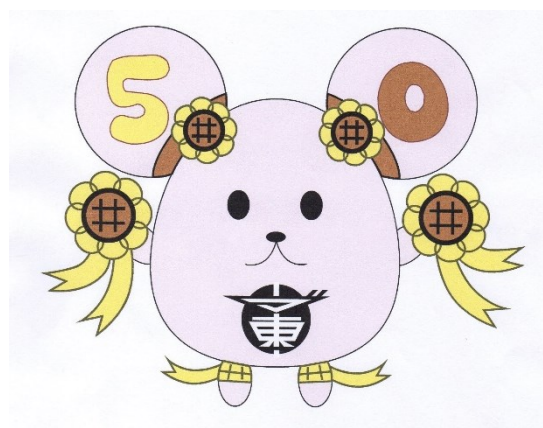
12・14の設問については肯定的な回答が減り、『そう思わない』の回答がどちらも増えました。学校行事への参加やPTA活動への協力については、保護者に過度な負担をかけないよう活動内容の精選し、PTA役員や運営委員の方々とは知恵を出し合って工夫を図ってきました。しかし、まだまだ負担感を抱えている保護者の方々がいるということを改めて知り、受け止めています。引き続き負担感を軽減し、保護者の皆様と共に児童のより良い学校生活を支えていく方法を模索していきます。



昨年度よりも最も肯定的な回答が11%も減り、肯定的な回答が88%という結果となりました。昨年度は、制限のある中での教育活動に対して関心を寄せていただいていたと推察します。今年度は制限も解除され、日常の学校生活が緩やか戻ってきました。保護者の皆様が来校し、児童の学校生活や教育活動の様子を直接見ていただく機会が増えた結果と考えています。

現在では、学校から発信する情報を保護者の皆様にタイムリーに届くよう「スマホで連絡とれ〜る」の機能を活用して各種のおたより（保健室だより・給食だより・献立表）をデータ送信する取組を始めているところです。また、相東小だよりには、教育ボランティア（学校運営協議会の方々のご協力で募ったボランティア）の紹介を掲載しています。さらに、ホームページには、PTA活動についてのお知らせもご覧いただけるように整備しました。「スマホで連絡とれ〜る」の機能を活用しつつ、ホームページの充実を図るとともに、紙面でのおたよりと併用しながら、学校の取組やお知らせをしていきます。

保護者の皆様や学校に関係する地域の皆様に、本校の教育活動へのご理解、ご協力をいただけるよう、今後も情報発信に努めていきます。

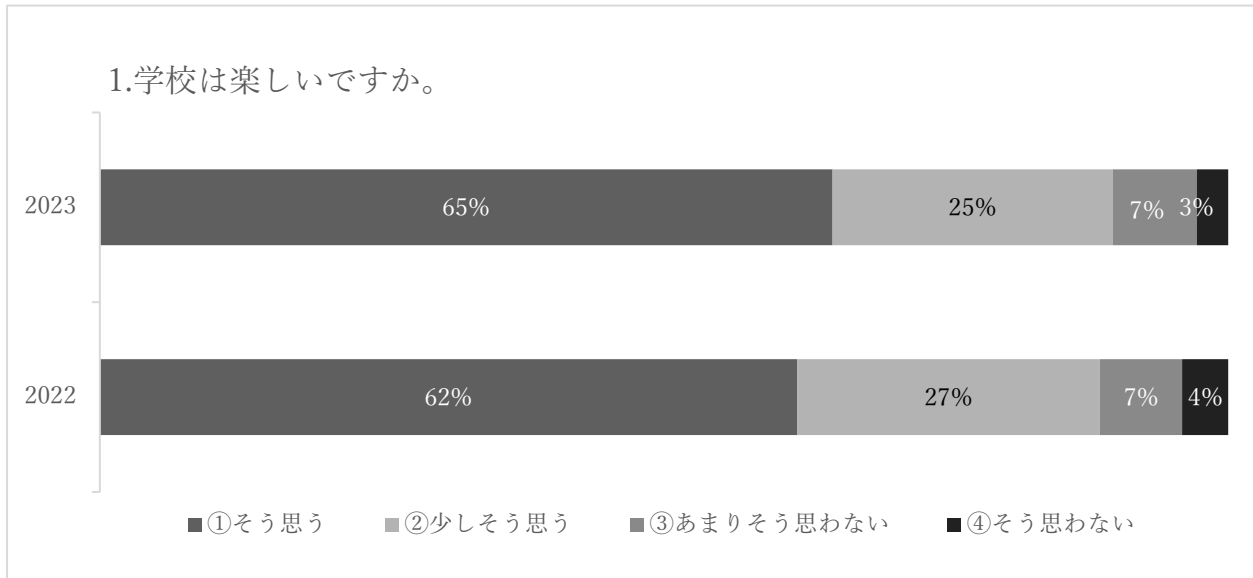


50<sup>th</sup>Anniversary キャラクター「ひまスター」



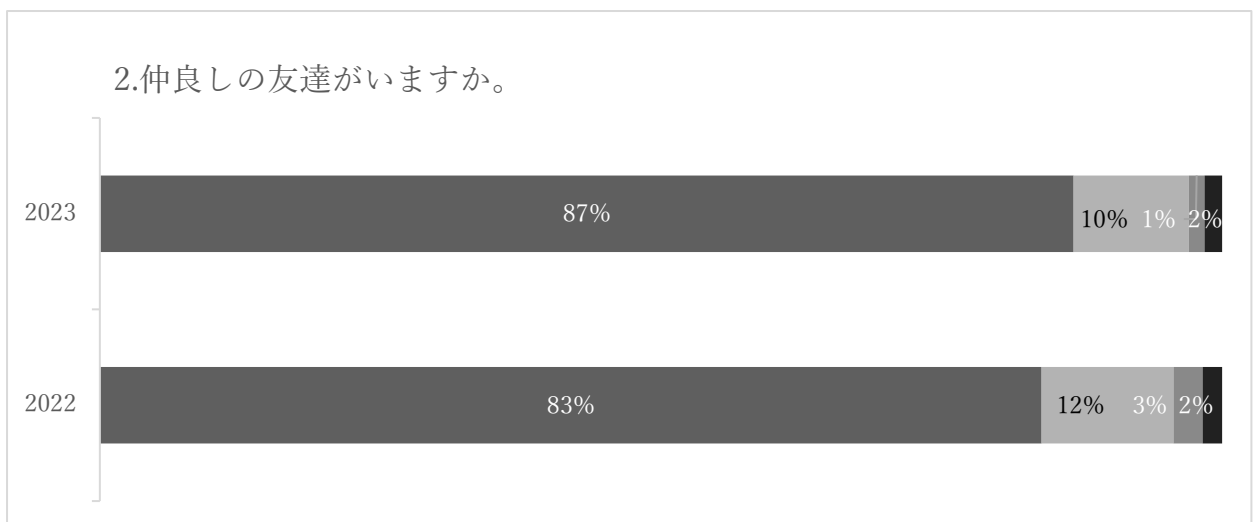
## 《児童アンケートより》

◇楽しい学校生活が遅れているかについての設問です。

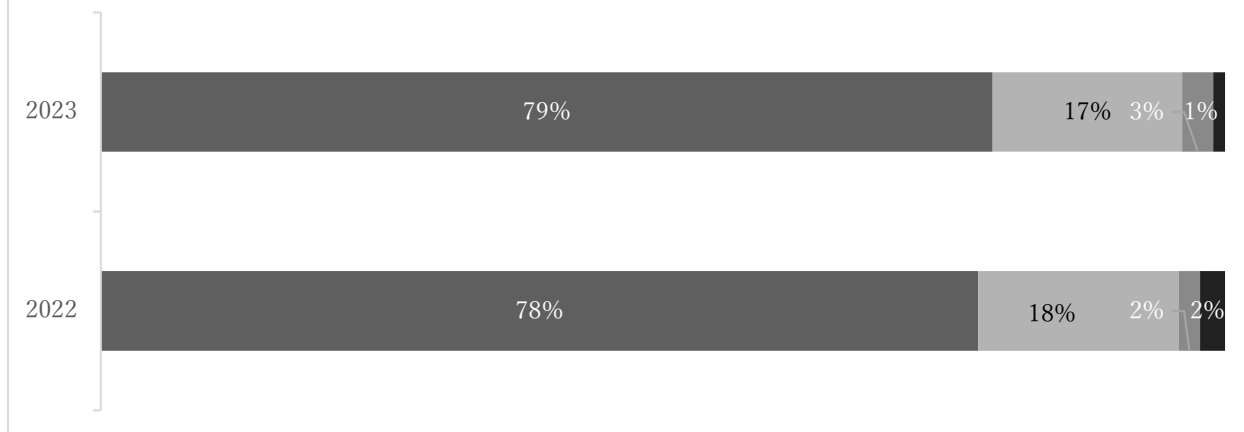


昨年度より肯定的な回答が増え、90%の児童から回答がありました。特に、最も肯定的な回答が昨年度よりも3%上昇したことは、大変嬉しい結果です。今年度はコロナ禍の制限が解除され、マスクを外した学校生活を送るようになったことで、児童同士が互いの表情を見て交流することが日常となりました。また、校庭での遊び方や室内での過ごし方、教室内の机の配置などの制約がなくなり、児童同士の距離が縮まり、親近感を高めていった結果であると受け止めています。行事等も制限が緩和され、児童が生き生きと活動できる内容へ変化しています。

今後は、児童同士が、学習や遊びを通してさらに深く交流し、お互いの思いや考えを伝え合うことの良さや楽しさが実感できるような学びの場を考えていきます。また、学習活動はもちろんのこと、日々の生活や行事等、全ての教育活動の中で、児童一人一人が居心地よく過ごせる工夫を継続していきます。そして、より良い楽しい学校生活を送るために、児童が主体的に行動できるよう、指導・支援をしていきます。



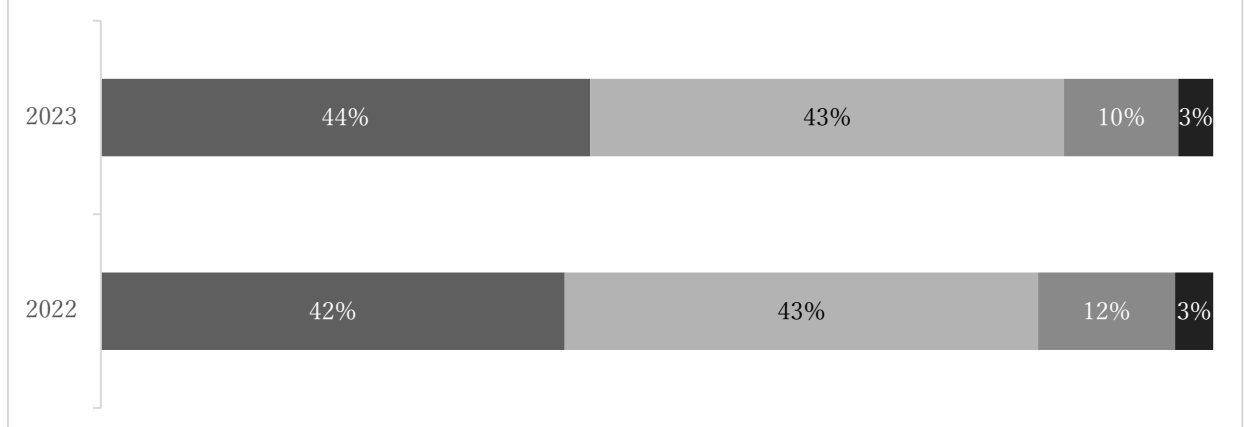
### 3.友達と仲良くしていますか。



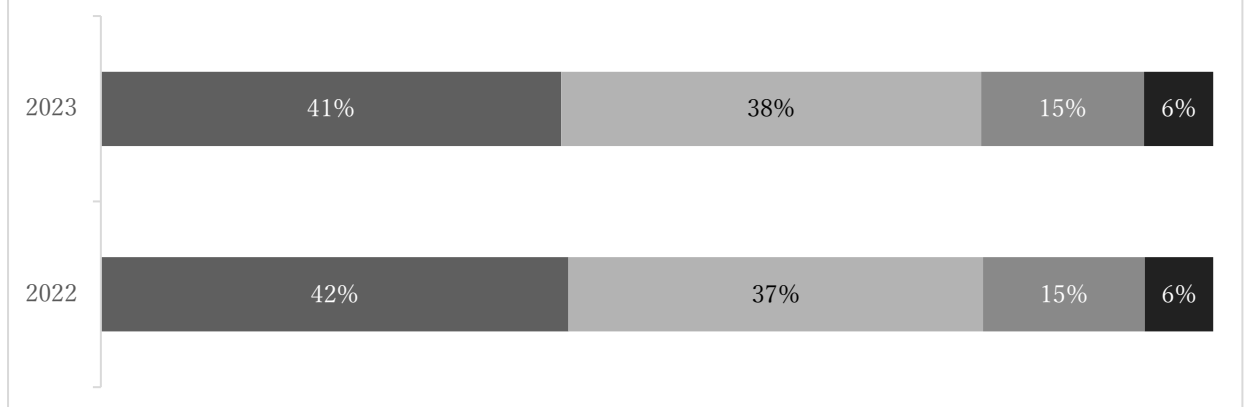
友達関係については例年同様に、肯定的回答率が大変高く96%となっています。本校では児童相互の「学び合い」を取り入れた授業づくりや、互いを認め合う学級づくり等を進めています。また、道徳教育等を通して、友達と仲良くすることの大切さを自分事として考える機会を計画的にとり、学校生活や行事等での実践に繋げています。この設問への肯定的回答の高さはこういった取組の成果と捉えています。引き続き、児童同士が互いに安心できる人間関係が築けるよう指導・支援し、今後も楽しい学校生活の土台となるよう取組を継続していきます。

### ◇あいさつを積極的に行えているかについての設問です。

#### 4.すすんで友達や先生にあいさつをしていますか。



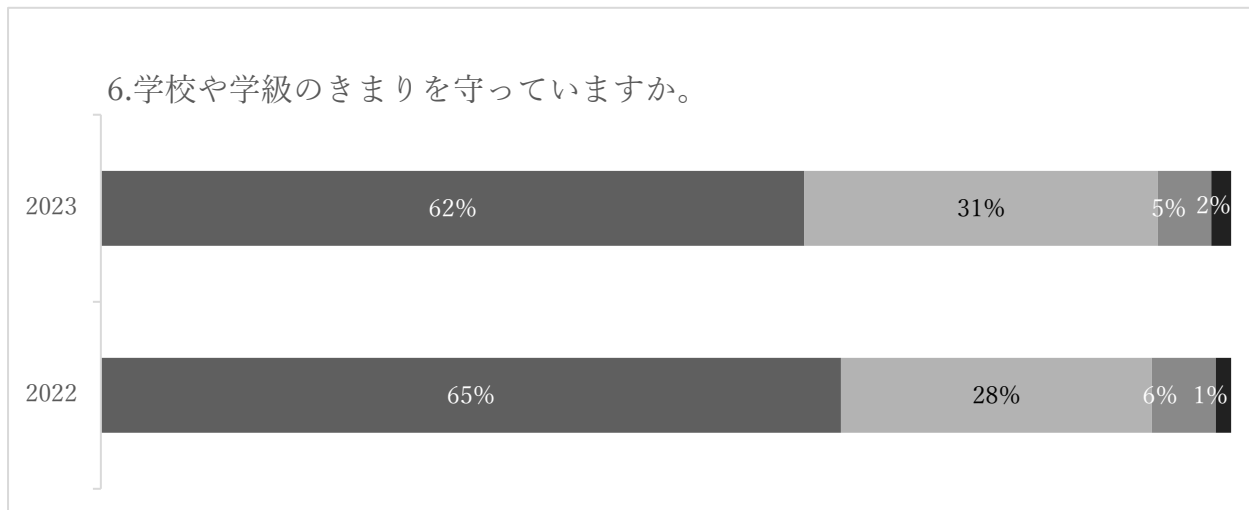
#### 17.すすんで家の人や近所の人にあいさつをしていますか。



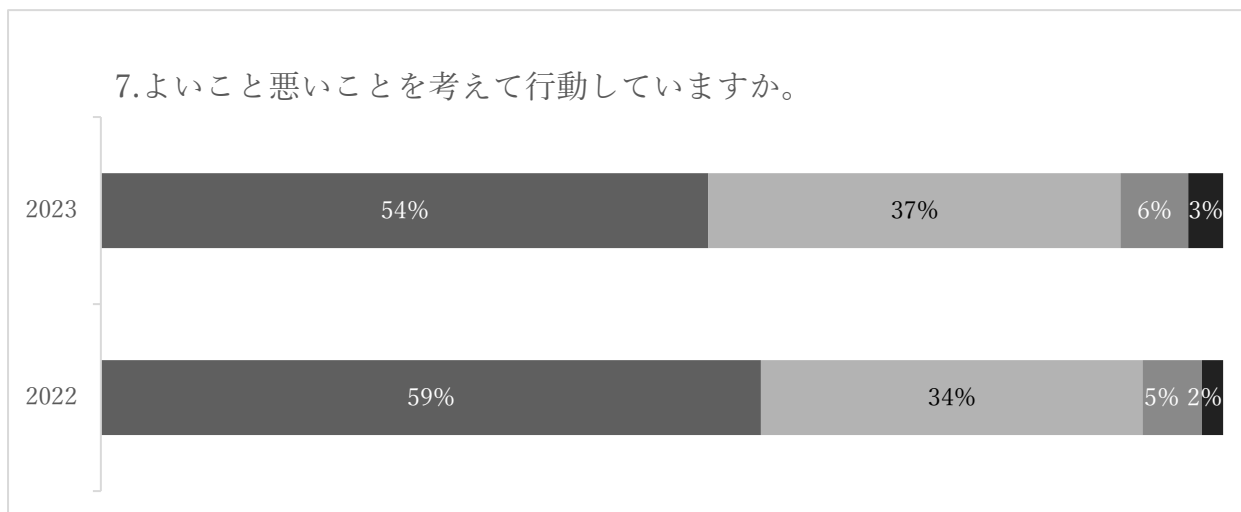
校内でのあいさつでは、肯定的な回答が87%となりました。各学級の実践として、あいさつの意味や大切さを継続的に指導しています。あいさつを交わすことで、互いの存在を意識し、相手を思う心を育みます。校内では、校長・教頭が毎朝、教職員はあいさつ運動日に、民生委員さんと通学路に立ち、あいさつをしています。児童会の取組として、朝会で全校児童が体育館へ集合する際、児童会が通路に立って元気なあいさつをする活動を再開しました。これは、コロナ前に児童会が率先して行っていた活動の一つです。今後も、この活動を継続していきあいさつの輪が広がっていくように努めていきます。

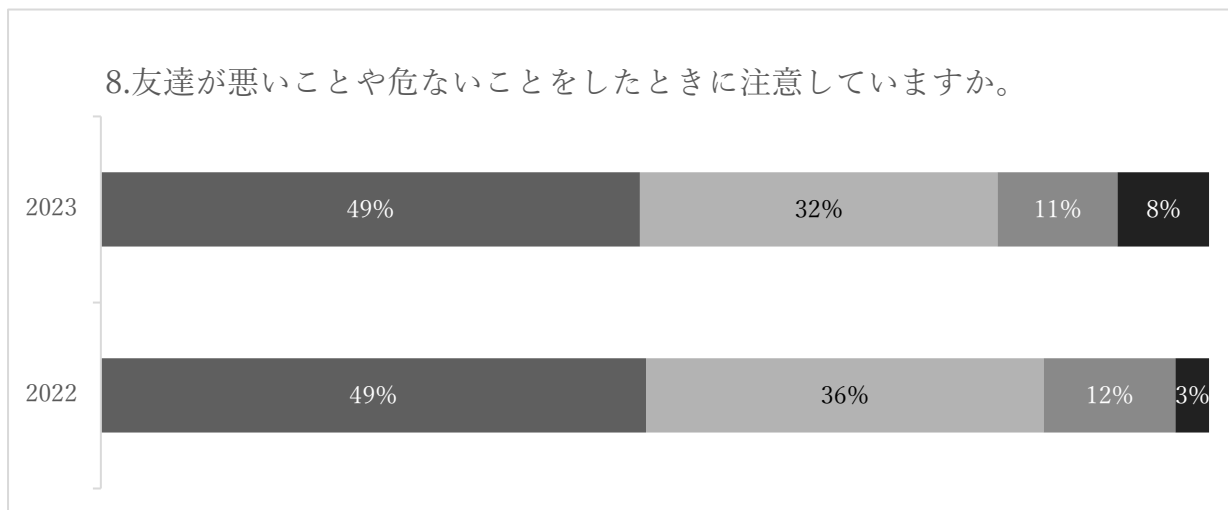
一方で、地域でのあいさつが伸び悩んでいることも、この結果からうかがえます。そのためには、学校と地域がさらに近い関係を築いていく必要があると感じます。そこで、コミュニティ・スクールの方々との連携を強め、地域の方々のご理解やご協力を得ながら開かれた学校となるようにしていくことが大切と考えています。そして、児童と地域の方々の距離が縮まり、あいさつを通して得られる円滑なコミュニケーションを児童に実感させながら、あいさつが響きあう相武台東小学校にしていきたいと考えます。

#### ◇規範意識についての設問です。



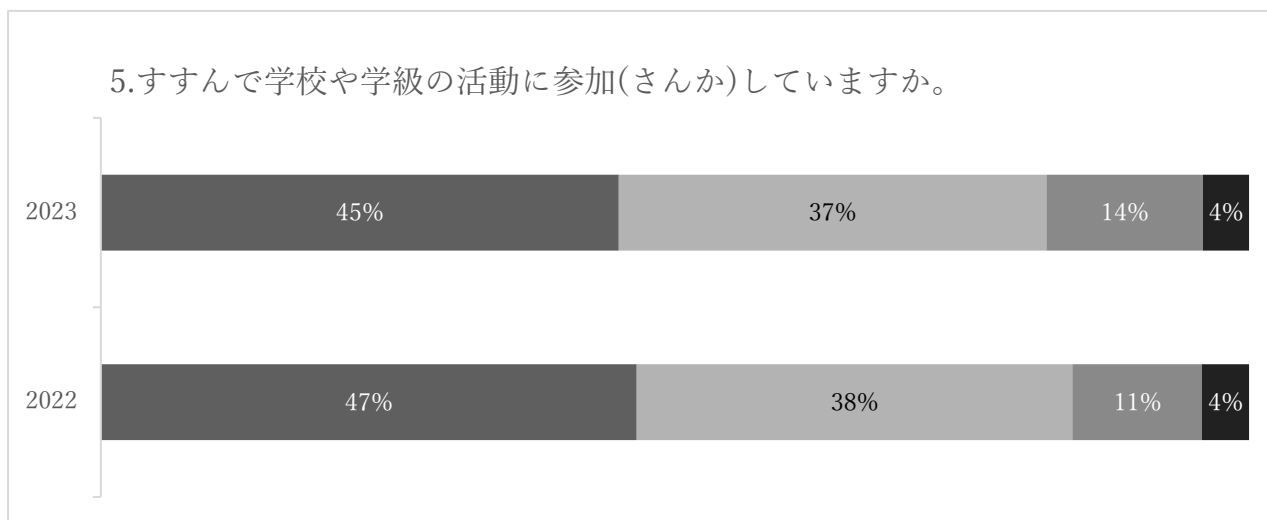
肯定的な回答の割合は、昨年度と変化はありませんが、最も肯定的な回答が3%減少したこと、「そう思わない」の回答が1%上昇したことが気になります。規範意識の中で「きまりをまもる」意識を高めることが大切と考えます。「何のためにきまりがあるのか」「なぜきまりを守らなければならないのか」等、子供たちに考えさせ理解を促していきます。そして、児童の実態に合わせて丁寧に指導をしていきます。





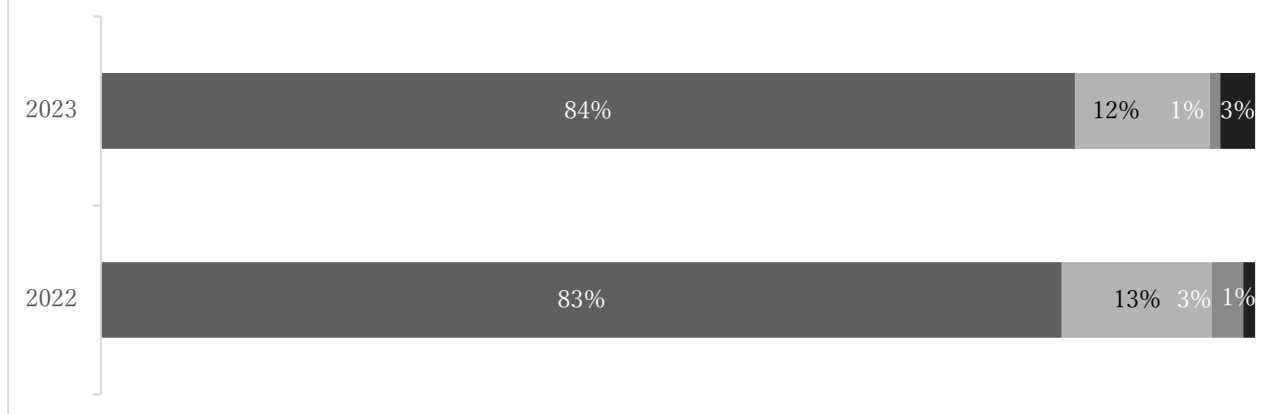
設問7・8については、肯定的な回答が、いずれも減少していることが大変残念です。考えて行動することの難しさを児童が正直に回答した結果と受け止めます。悪いとわかっているにもかかわらず衝動的に行動してしまうことや注意をしたら巻き込まれてしまうと躊躇し、見て見ぬ振りをして回避しようとする行動があると考えます。悪いことを悪いと言える児童同士の関係性を築き、相武台東小学校の児童が安心して学校生活を送れるようにしていくためにも、児童一人一人がこの意識を高めて行動できるようにしていきます。また、校内だけでなく、家庭や地域での様々な場面の中で、具体的に考えて行動できるよう指導していきます。そのためにも、家庭や地域との連携を密にし、仲間と共により良い生活を自分たちでつくっていかうとする意識を育てていきたいと思ひます。

◇集団活動や当番活動等への主体的な参加についての設問です。

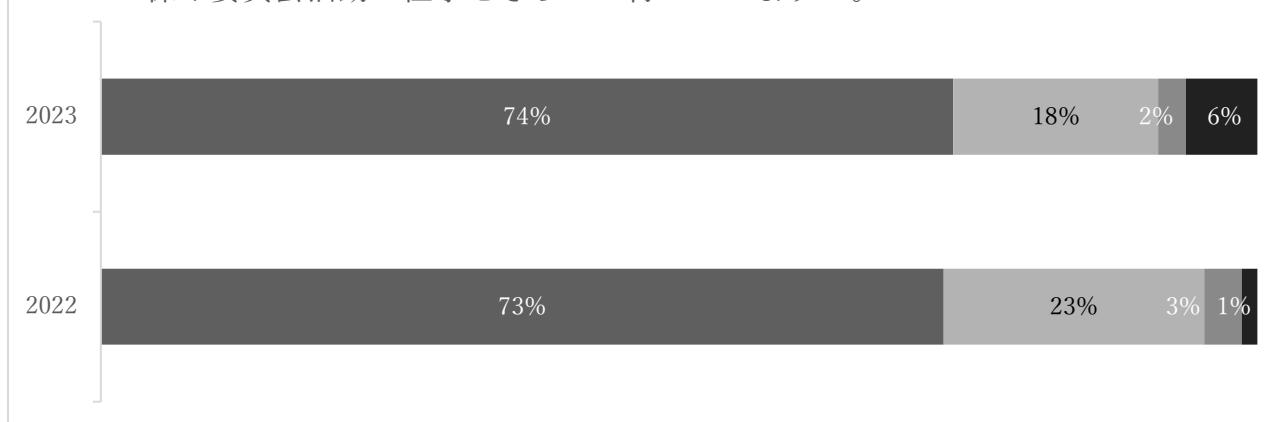


昨年度より肯定的な回答が3%減少しています。児童自ら主体的に活動する場面を学校や学級の中でより一層考えていく必要があると感じています。具体的な活動についても、児童の側から意見や考えを募り、児童自ら学校や学級の活動の主体となって行動することの楽しさを実感させていきます。そのためには、児童会を中心とした児童が主役となる活動を考え、各学級へ波及する取組を意識して考えていく必要があると考えます。コロナ禍での制限が解除され、今後は児童が主体的に楽しみながら学校や学級の活動に取り組めるよう内容や方法を吟味し、指導・支援をしていきます。

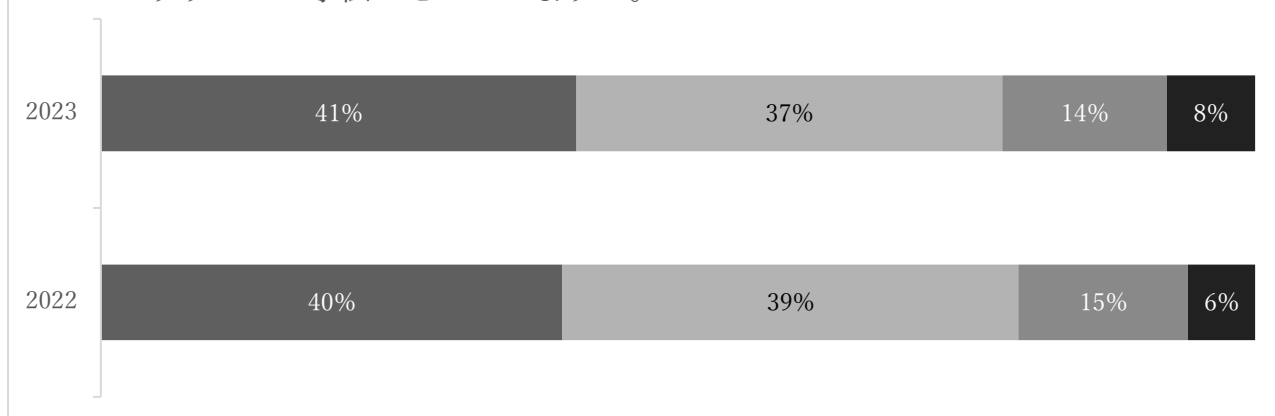
9.掃除当番や給食当番をきちんと行っていますか。



10.係や委員会活動の仕事をきちんと行っていますか。

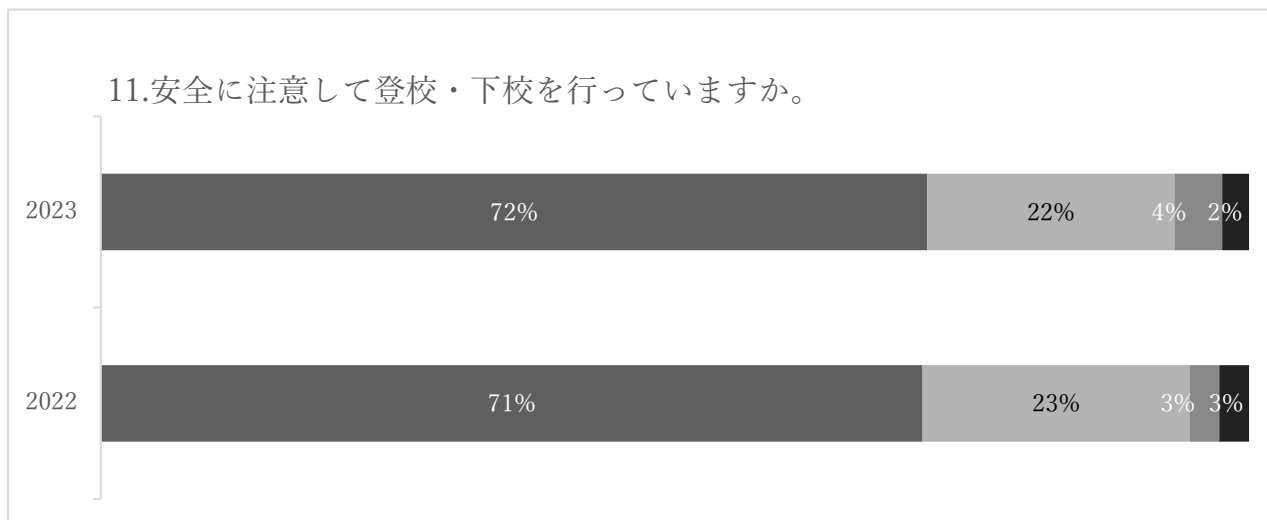


18.すすんでお手伝いをしていますか。



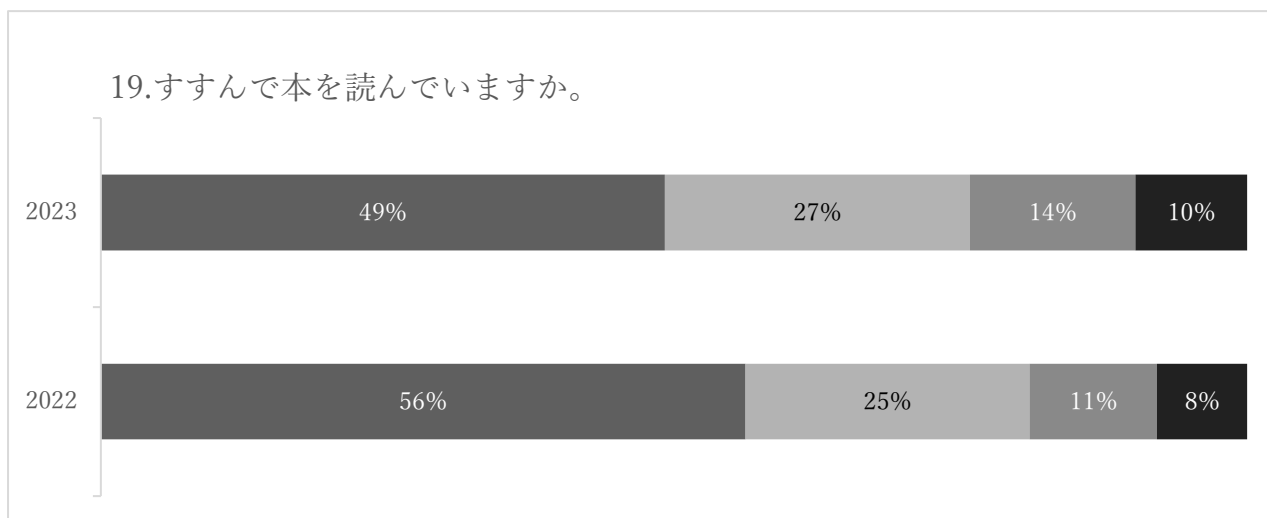
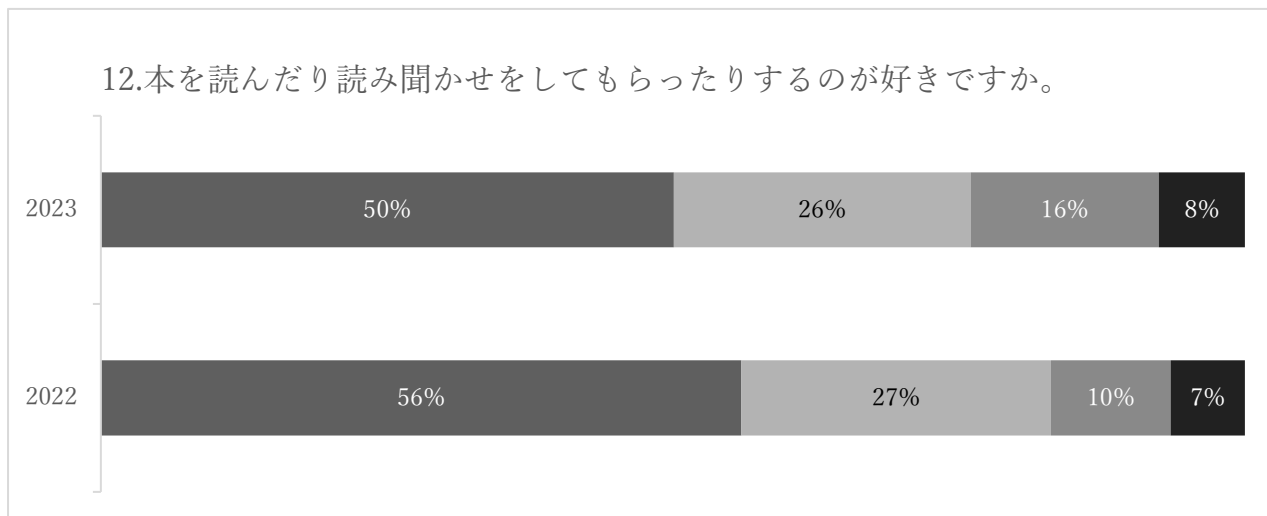
設問 9・10・18 は所属集団での働きや貢献を問う設問です。自分の所属する集団が、生き生きと生活を営むうえで、欠かせない意識や行動です。児童は学校でこの意識をもちながら行動していることがうかがえる結果となりました。一方で、「そう思わない」という回答が増えていることも事実です。学校での当番活動や委員会活動は「義務や責任を果たす」といったこと以上に「主体性を育てる」あるいは「自分は役に立っている」「誰かのためになっている」という自己有用感を育てるといった点で非常に大切であると考えます。今後も感謝や承認のことばを児童に直接伝えながら、主体的に取り組めるよう進めていきたいと思ひます。

◇登下校の安全意識についての設問です。



昨年度と同程度で90%以上の児童が肯定的な回答をしています。登校時は1列になり、登校班長を先頭にして安全に登校できていることは大変立派です。しかしながら、下校時や放課後・休日には、交通事故につながりかねない事案や、地域の方から交通マナーの悪さを指摘されることもあります。そういった状況の中で、昨年度からコミュニティ・スクールのアドバイスを受け、地域の方々が児童の登下校を見守ってくださり、大変感謝しています。自他の命を守る行動がとれるよう、家庭や地域と連携した安全教育を進めていきます。

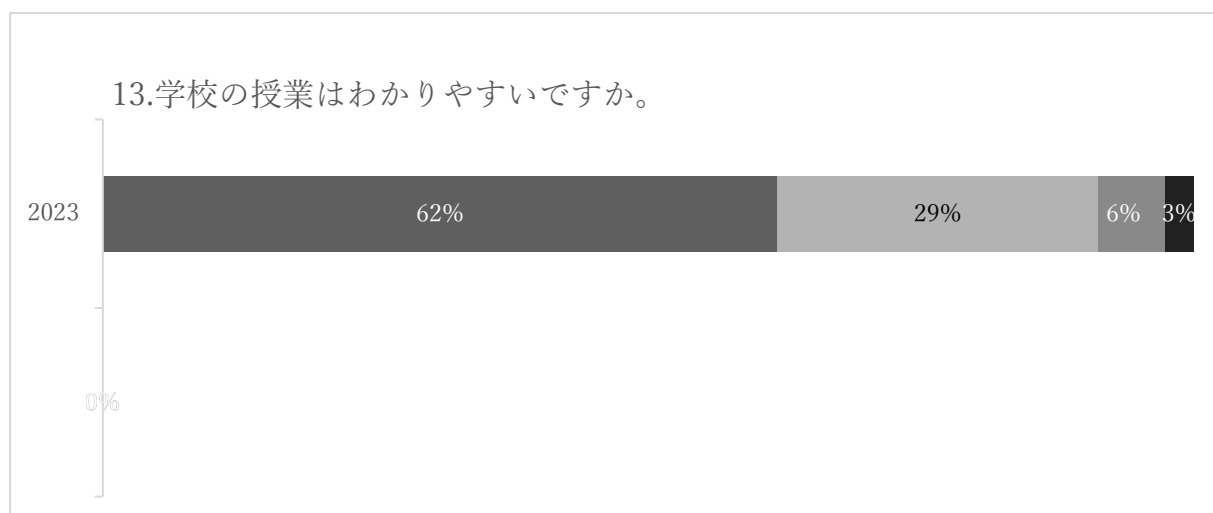
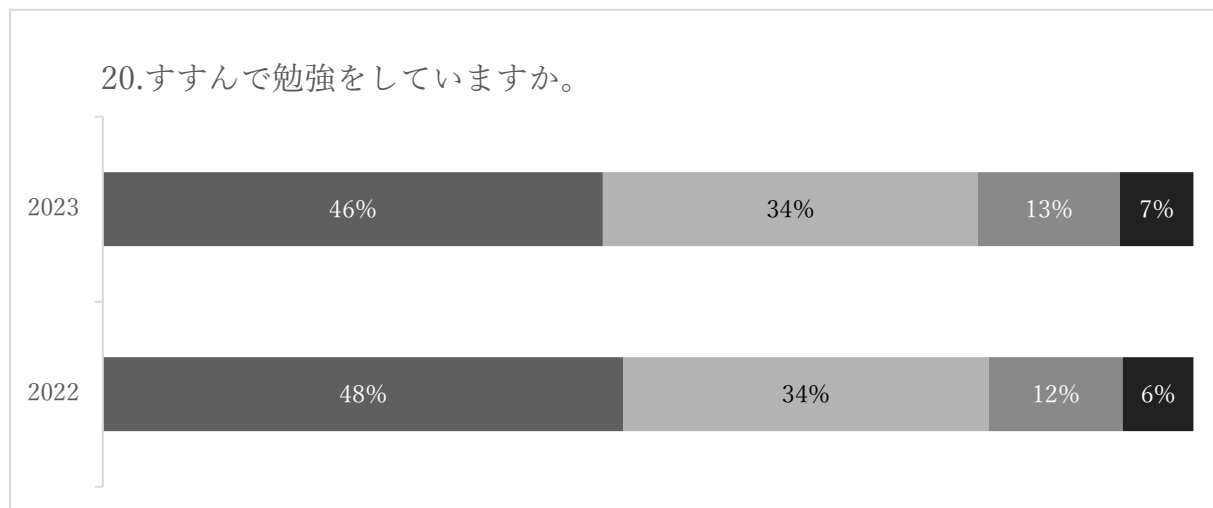
◇読書への関心についての設問です。



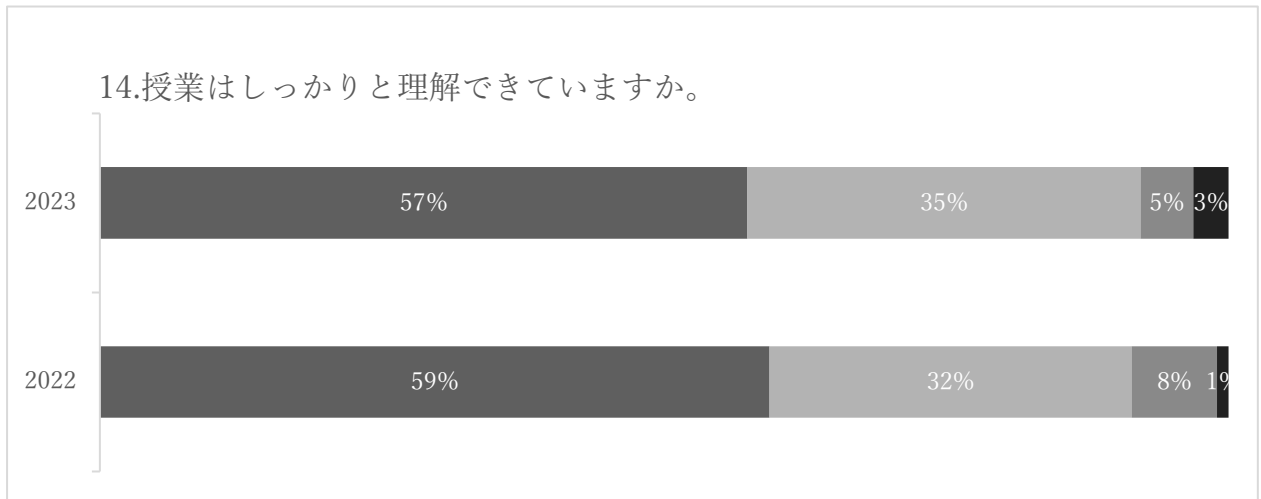
昨年度よりも肯定的な回答が減少していることが大変気になります。要因の一つとして、コロナ禍の制限が解除され、休み時間の過ごし方が変化し、制限なく校庭で元気に遊ぶ児童の姿がたくさん見られるようになりました。それと比例して、室内で静かに読書をして過ごす姿が少なくなったと感じます。しかし、学校図書館の利用者数は昨年度より347人増加し、本の貸出数も1224冊増加しています。読書が大好きで、頻繁に図書室を利用している児童がいることも実態としてあります。図書館担当教諭と学校図書館司書が連携をし、図書委員会を中心として、読書週間に取り組み学校図書館のさらなる充実を図っていきます。

本校では朝の「おはなし会」、中休みの「トトロの森」といった読み聞かせボランティアさんが長年にわたり活動続け、児童へ本の世界の楽しさを伝えてくださっています。また、学校図書館司書が季節や生活に合わせた本の紹介や読み聞かせ、読書週間の読書推進活動、学習における図書館活用も図書担当教諭や担任と連携し行っています。校長室前の廊下には、毎月本を紹介し、児童が手軽に本を手にとれるよう整理しています。こうした取組を継続しながら、各学級の図書室利用を計画的に進め、児童が本に関心を持ち、理解を深めてく取組を工夫していきます。

#### ◇学習意欲についての設問です。

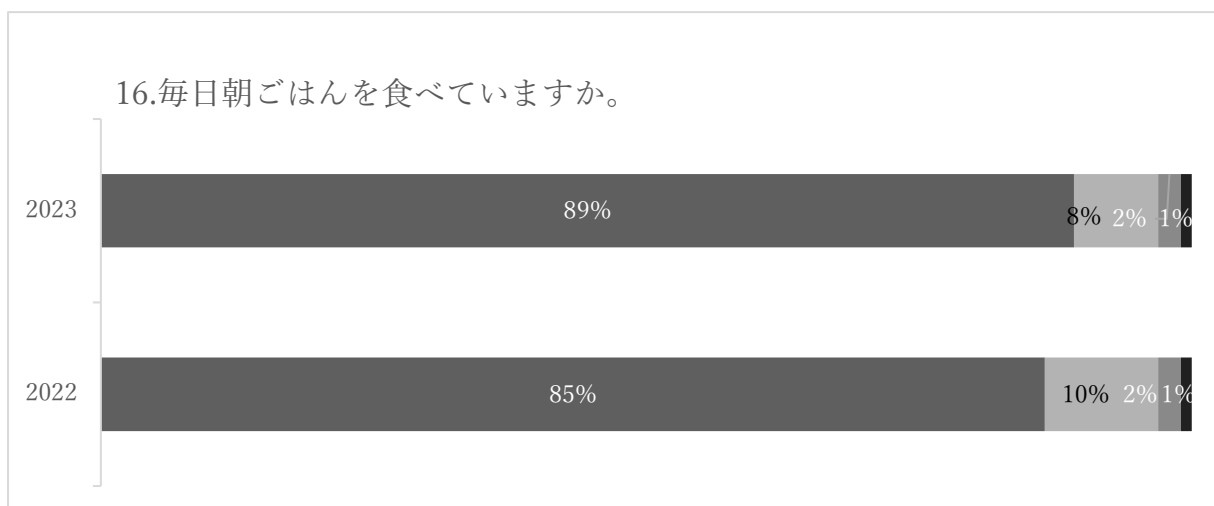
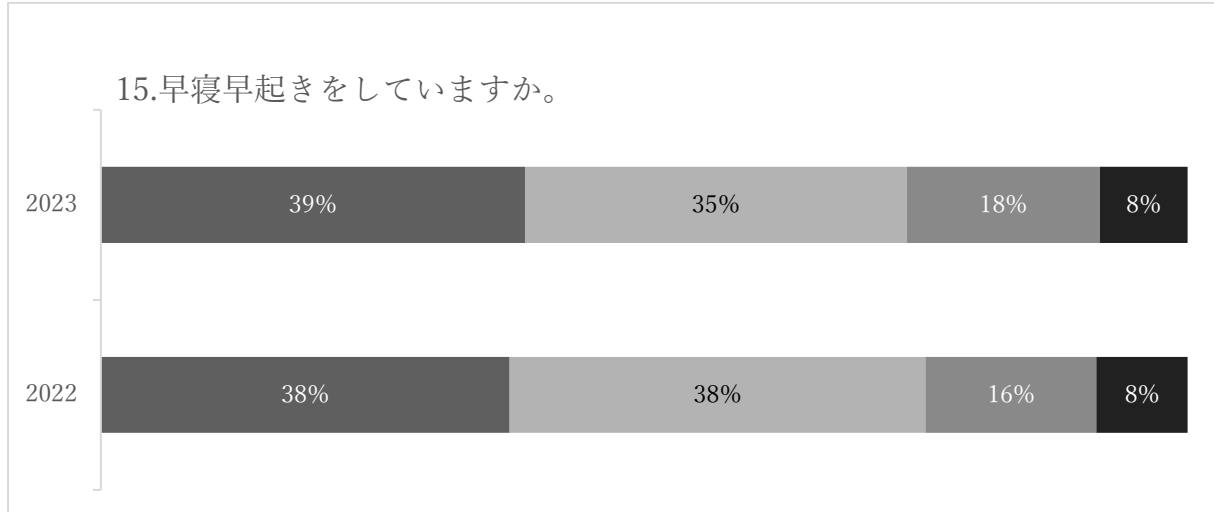


今年度から新しく追加した設問のため、昨年度と比較することはできませんが、最も肯定的な回答が62%となりました。今後も、授業研究をとおして授業改善に努め、児童が分かりやすい授業をめざしていきます。



昨年度よりも肯定的な回答が1%上昇しました。しかしながら、最も肯定的な回答が2%減少したことは、大変残念に捉えています。わかりやすい授業には高評価を得ましたが、しっかりと授業を理解しているまでに至っていないということを真摯に受け止め、今後の授業研究や授業改善に取り組んでまいります。また、「そう思わない」と回答している児童が増えていることにも注視し、引き続き「みんなでわかる授業づくり」に取り組めます。授業がわかるから勉強が楽しい、進んで勉強したいという好循環が生まれるよう、まずは「わかる楽しさを味わえる授業づくり」を研究していきます。

◇家庭での生活習慣についての設問です。

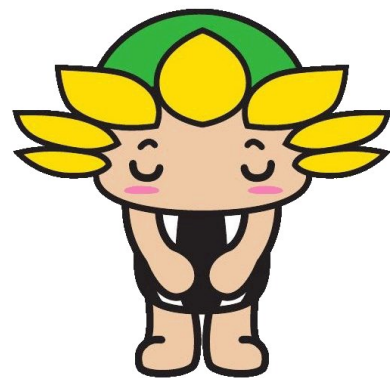




設問16の朝食に関しては、喫食率が高く、学校生活を元気にスタートさせる生活が整っていることに安心しています。設問15の睡眠については年齢が上がるにつれて、乱れていく傾向にあります。要因としてはゲームやネット等に多くの時間を費やしてしまうことや、塾や習い事による就寝時刻の遅れなどが考えられます。小学校時代は心身の基礎をつくる大切な時期です。生涯にわたって自身の心身の健康を保てるよう、家庭と学校が連携し、生活習慣の確立に努めていくことが大切だと考えます。

以上が今年度の学校評価アンケートの結果と考察です。

アンケート結果を踏まえ、今後も教職員一同より良い学校づくりを進めてまいります。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。



りん